

令和5年度 分析調査

尾花沢市商工会

【課題】

経営環境の変化に対応し、持続的な経営を行っていくためには中・長期的な事業計画策定が重要である。計画により目標を見える化することで、達成するための戦略等を考えていく必要がある。

【調査の目的】

事業計画策定においては、内部環境（自社分析）だけでなく外部環境（商圈・競合・市場など）を把握し、取組むことが重要である。商工会がビッグデータから地域経済動向を的確に把握し、小規模事業者等へ広く提供することで、環境の変化に対応し、日々変わる消費者ニーズに対応した商品・サービスの開発や新規市場への開拓のきっかけとしていただく。

地域経済分析システム RESAS <https://resas.go.jp/>

分析内容	・地域経済循環図	p.2
	・人口	p.3
	・第二次産業・第三次産業	p.7
	・日本人観光客・外国人観光客	p.9

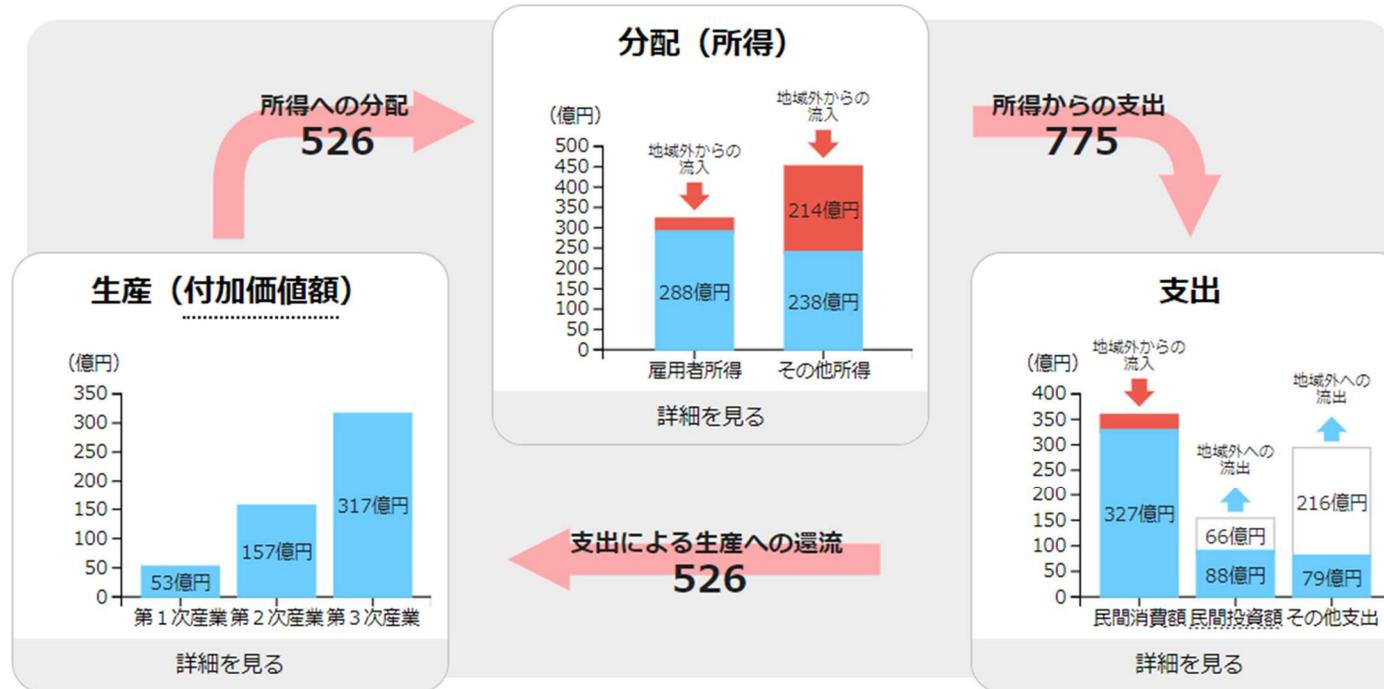
観光予報プラットフォーム <https://kankouyohou.com/>

分析内容	・観光予報	p.15
	・宿泊実績	p.16
	・キャッシュレス消費動向	p.17

地域経済循環率
67.8%

地域経済循環図 2018年

指定地域：山形県尾花沢市



付加価値額（一人当たり） 2018年

指定地域：山形県尾花沢市

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額（一人当たり）	276万円	660万円	836万円
付加価値額（一人当たり）順位	763位	1,249位	706位

所得（一人当たり） 2018年

指定地域：山形県尾花沢市

	雇用者所得	その他所得
所得（一人当たり）	205万円	287万円
所得（一人当たり）順位	1,047位	419位

支出流出入率 2018年

指定地域：山形県尾花沢市

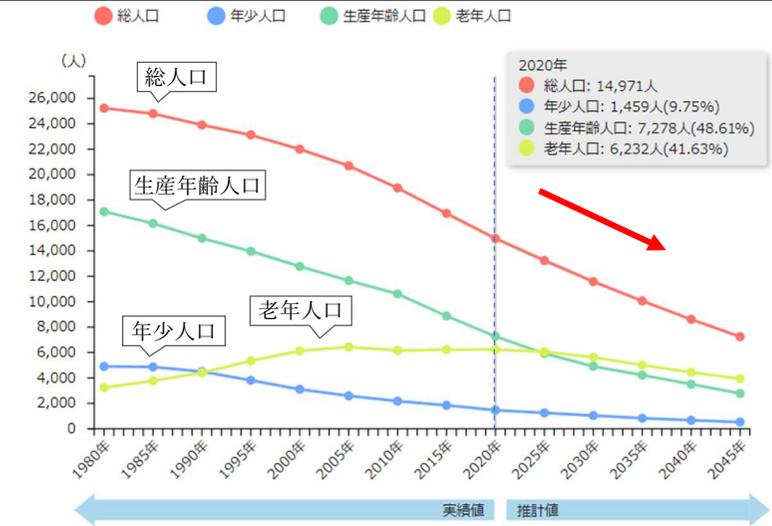
	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	10.0%	-43.0%	-73.3%
支出流出入率順位	494位	1,489位	1,041位

- ・上記は、地域のお金の流れを生産（付加価値額）、分配（所得）、支出の三段階で「見える化」した図です。
「地域経済循環率」：地域経済の自立度（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）
- ・尾花沢市では、526億円の付加価値を稼ぎ所得へ分配している。
- ・分配（所得）において、雇用所得以外（企業所得、交付税、補助金等）の流入が25%以上（214億円）ある。
- ・尾花沢市では買物や観光等で消費が33億円流入している。投資は66億円地域外へ流出している。所得775億円＋地域外からの流入33億円のうち、地域内（尾花沢市）への還流が67.8%（526億円）、地域外への流出が32.2%（282億円）ある。

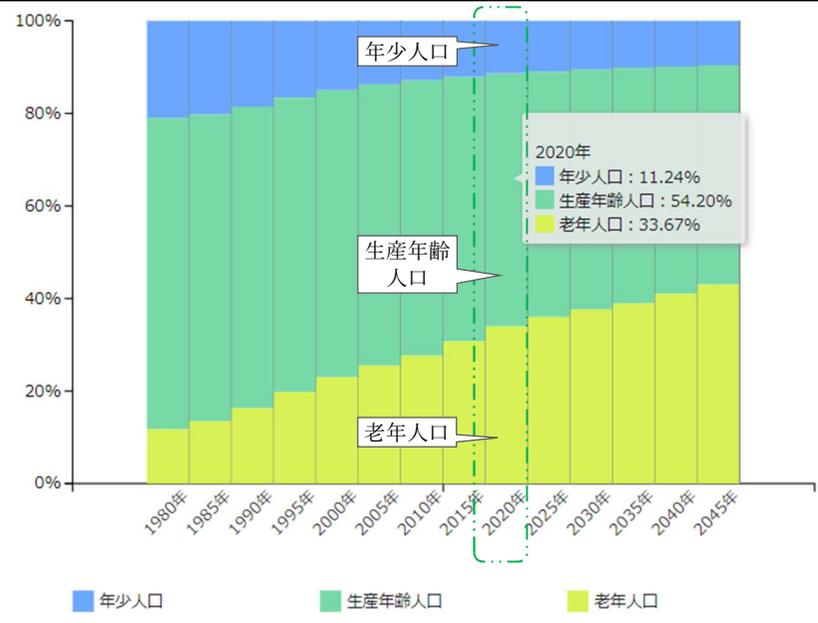
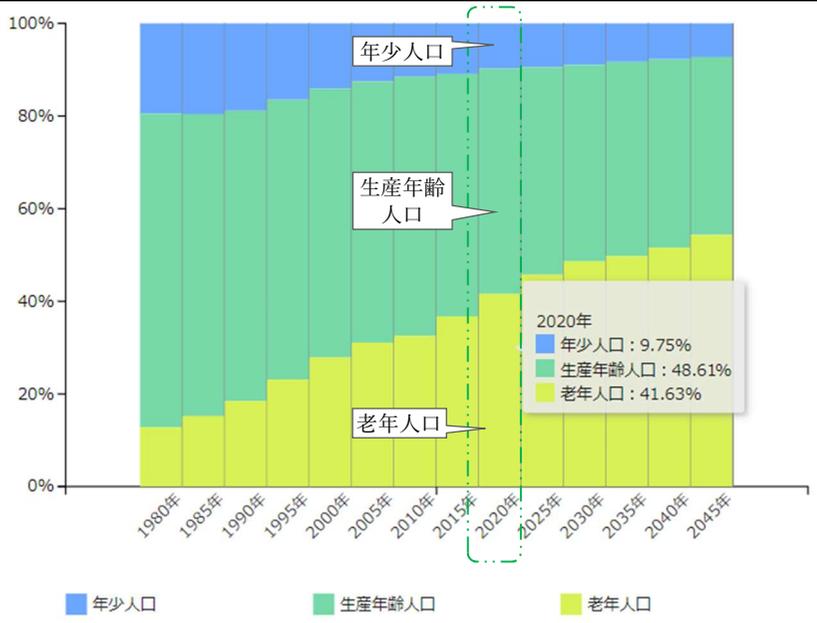
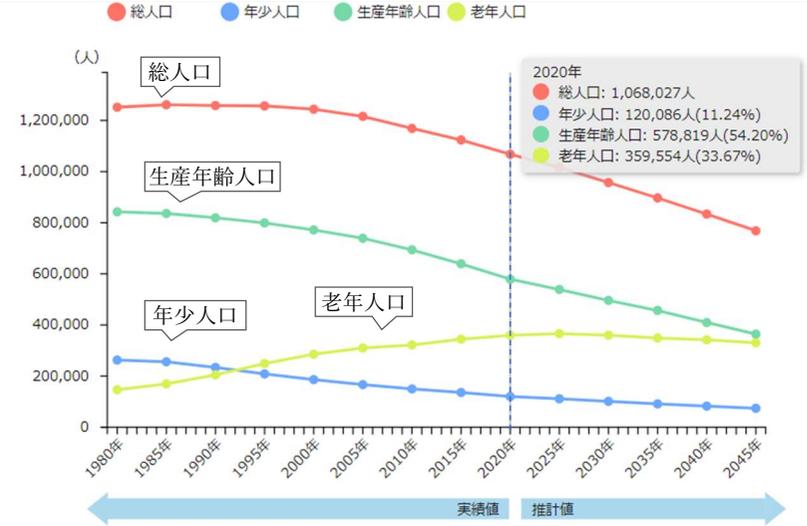
【目的】 総人口・年代別人口がどのように推移するか把握する。

- 【グラフから】
- ・ 2020年の老年人口割合は山形県と比べて高い。
 - ・ 2020年の年少人口割合、生産年齢人口割合は山形県と比べて低い。
 - ・ 総人口は2020年と比較して2025年に88.5%、2035年に67.2%、2045年に48.4%になる。

尾花沢市

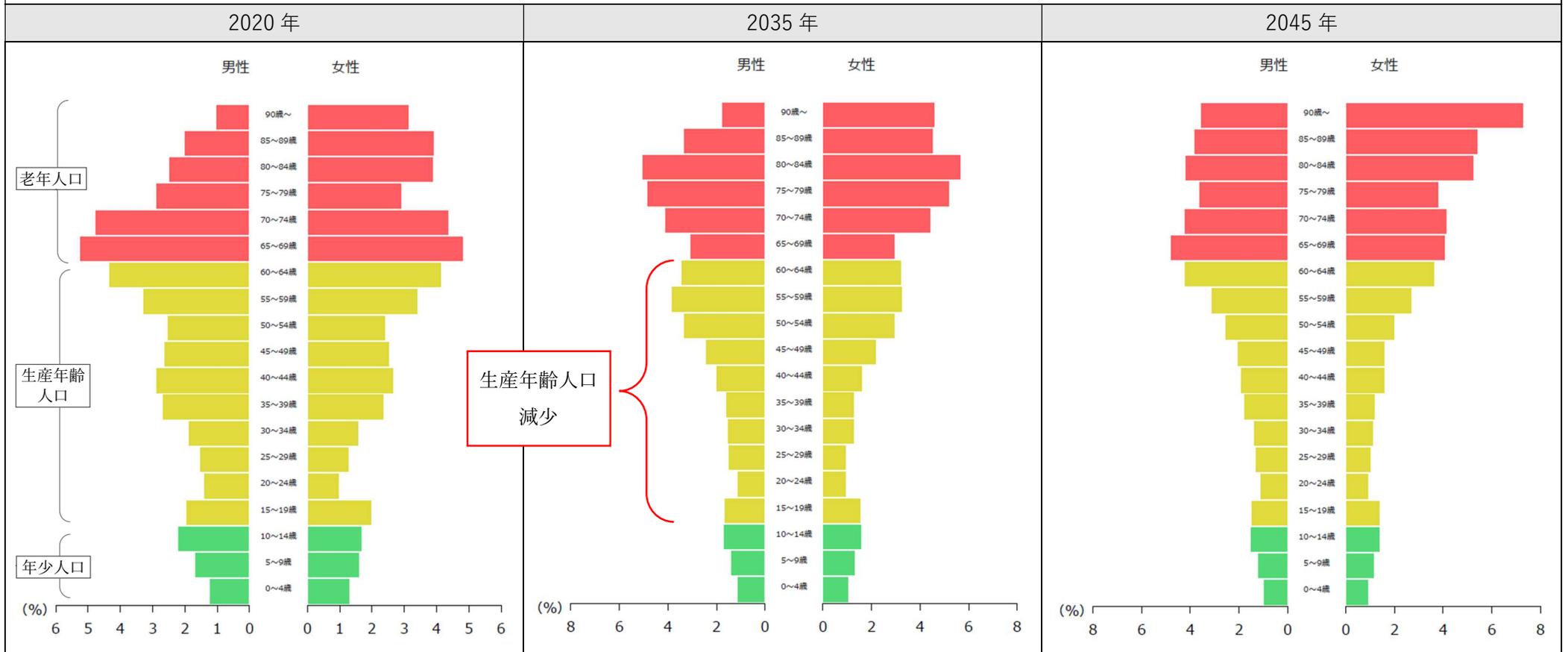


山形県



【目的】 人口の男女別・年齢別構成を把握しよう。

- 【グラフから】
- ・2020年から2045年にかけて老年人口（65歳以上）は36.8%減少する。
 - ・2020年から2045年にかけて生産年齢人口（15歳～64歳）は61.8%減少する。
 - ・2020年から2045年にかけて年少人口（0歳～14歳）は63.8%減少する。



【目的】自然増減（移動平均）と社会増減（移動平均）の推移を確認しよう。

【グラフから】

- ・人口の社会減は 1998 年度から生じている。
- ・人口の自然減は 1998 年度から生じている。
- ・2019 年度から、社会増減数を自然増減数が上回っている。

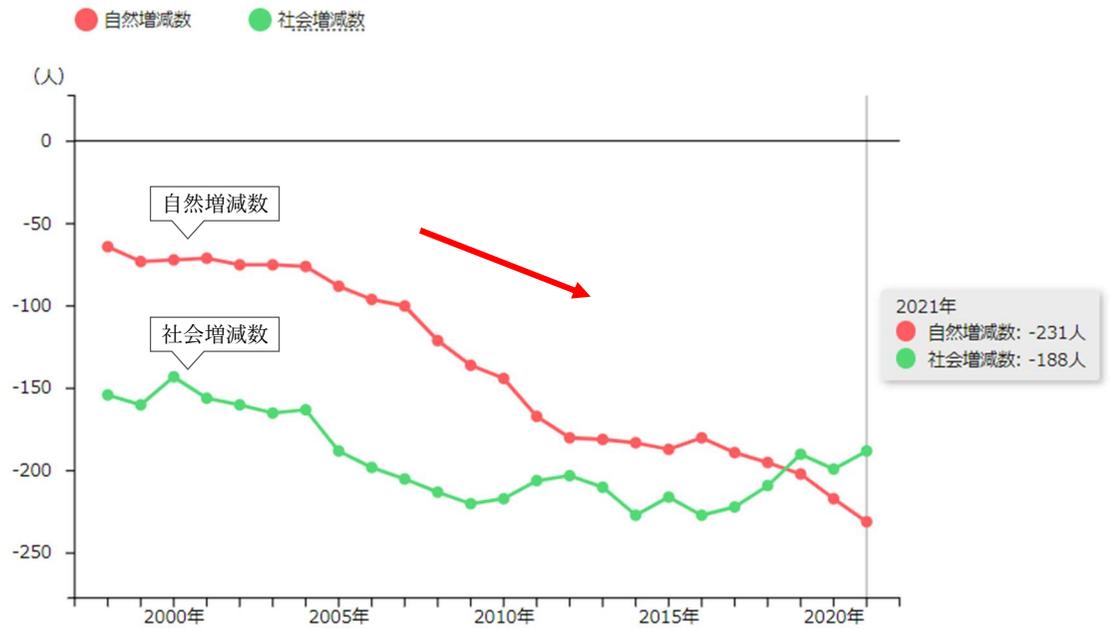
自然増減：

死亡数と出生数の差による増減

社会増減：

ある地域から別の地域に転入した者の数と転出した者の数を差し引き算出する。

住宅需要と密接に関連します。



【目的】住民の転入・転出先を把握し、移住施策を検討しよう。

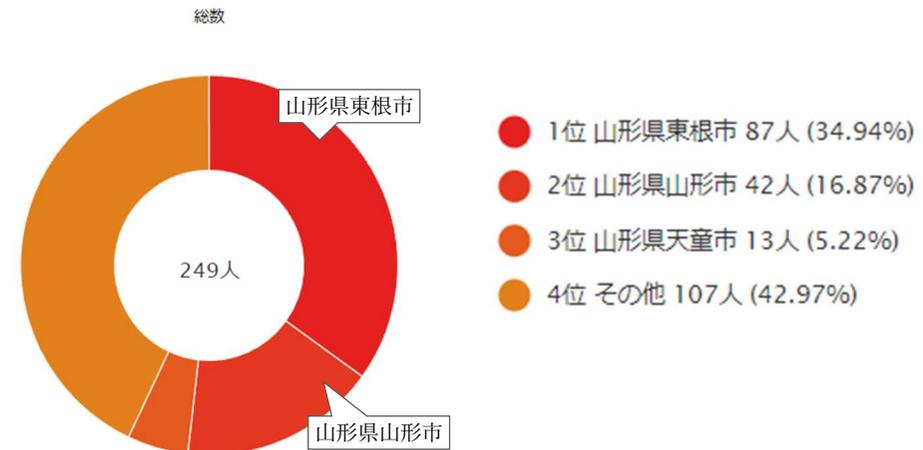
【グラフから】

- ・同じ県内の他市町村に移動する割合が 50%以上を占める。
- ・約 35%が山形県東根市に転出している。

転出超過：

一定期間における転出数が転入数を上回っている状態。

転出超過数内訳



【参考】山形県 転出超過（都道府県別）

山形県	宮城県	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	新潟県	福島県	栃木県	大阪府	その他
974人	941人	419人	370人	160人	117人	110人	85人	80人	378人	

【人口推移のまとめ】

 対象自治体が都道府県以上
 対象自治体が都道府県未満

推移情報	全国平均	都道府県平均	対象自治体	
年少人口割合	データなし ※1	11.24% ※1	9.75% ※1	
生産年齢人口割合	データなし ※1	54.20% ※1	48.61% ※1	
老年人口割合	データなし ※1	33.67% ※1	41.63% ※1	
合計特殊出生率	1.43 ※2	1.32 ※3	1.58 ※2	

※1 2020年の数値

※2 2013-2017年の合計特殊出生率

※3 2021年の合計特殊出生率

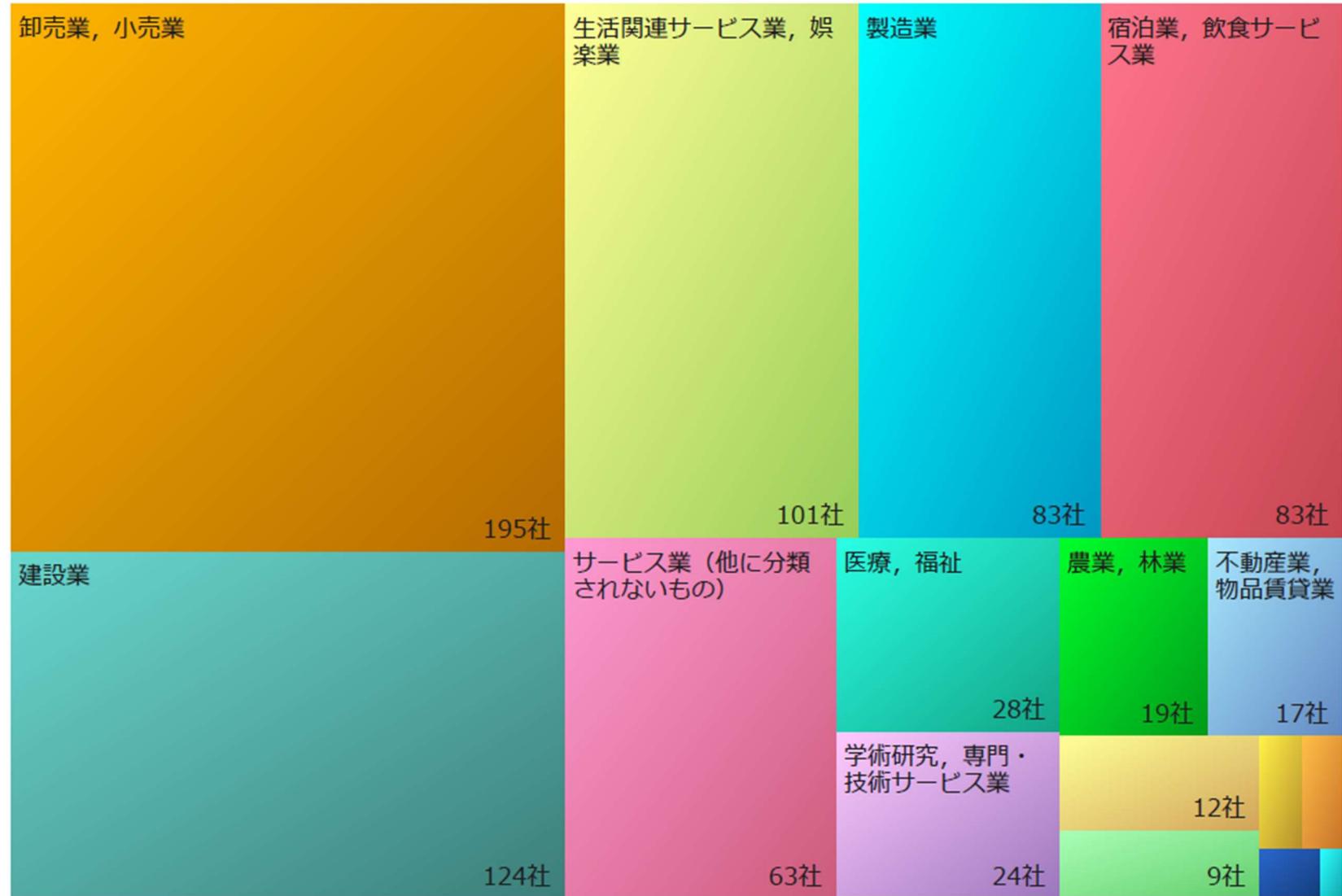
【目的】地域の産業の全体像を把握しよう。

【グラフから】 ・企業数は、①卸売業、小売業 、 ②建設業 、 ③生活関連サービス業、娯楽業 で半数以上を占めている。

2016年 企業数(企業単位) 大分類

山形県尾花沢市

企業数(企業単位) : 767社



上図以外の企業数(企業単位)の合算 : 0社

【目的】地域の産業構造を全国や山形県の産業構造と比較しよう。

【グラフから】

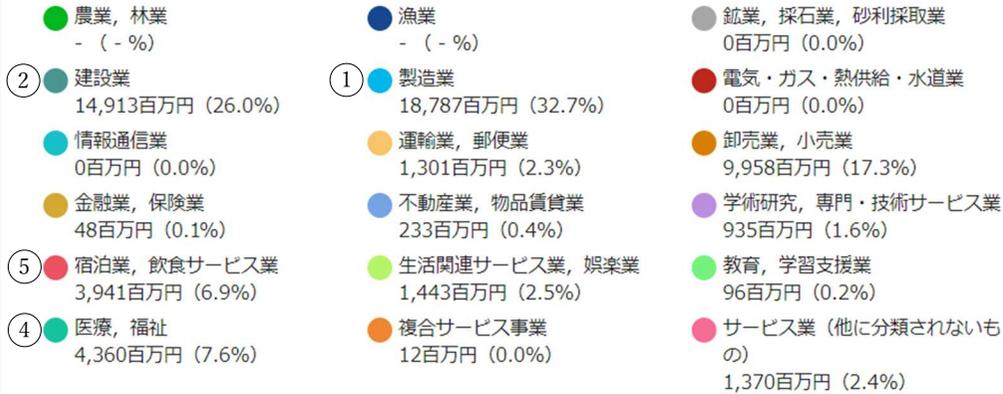
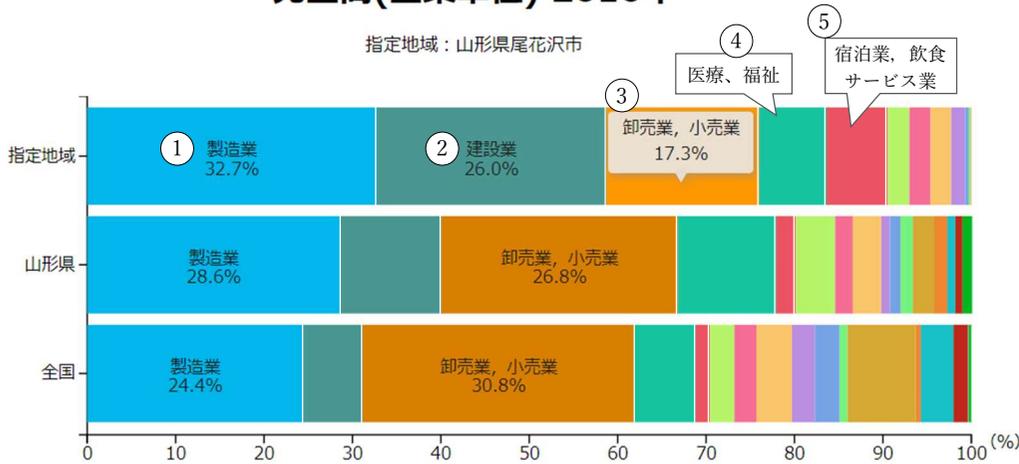
- ・2016年において、全国と比較して売上高(企業単位)の割合が高い産業は「製造業」、「建設業」、「医療、福祉」、「宿泊業、飲食サービス業」である。
- ・山形県と比較して売上高(企業単位)の割合が高い産業は「製造業」、「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」である。

【グラフから】

- ・2016年において、全国と比較して付加価値額(企業単位)の割合が高い産業は「医療、福祉」、「卸売業、小売業」、「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」である。
- ・山形県と比較して付加価値額(企業単位)の割合が高い産業は「医療、福祉」、「卸売業、小売業」、「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」である。

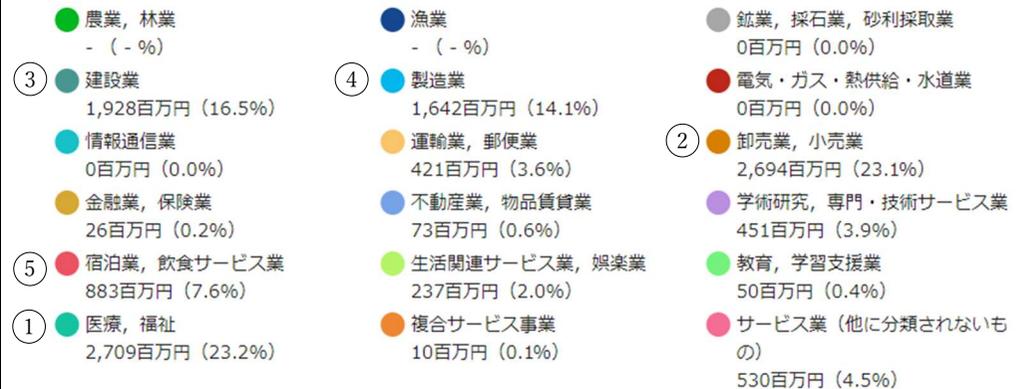
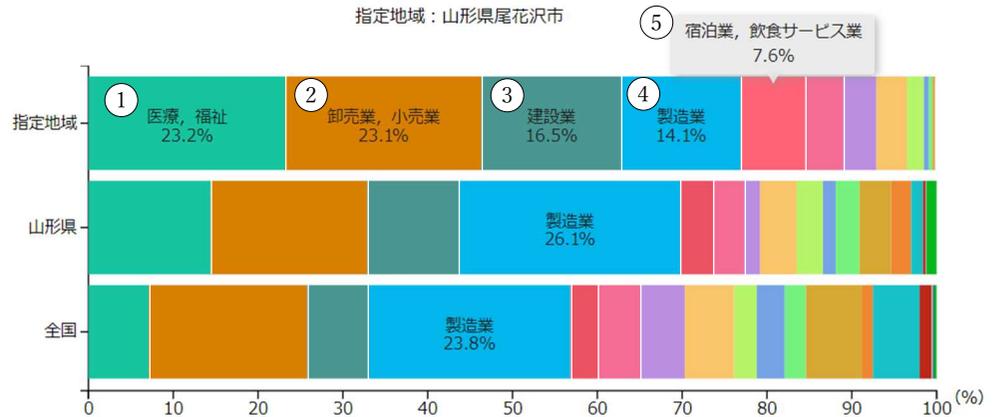
売上高(企業単位) 2016年

指定地域：山形県尾花沢市



付加価値額(企業単位) 2016年

指定地域：山形県尾花沢市



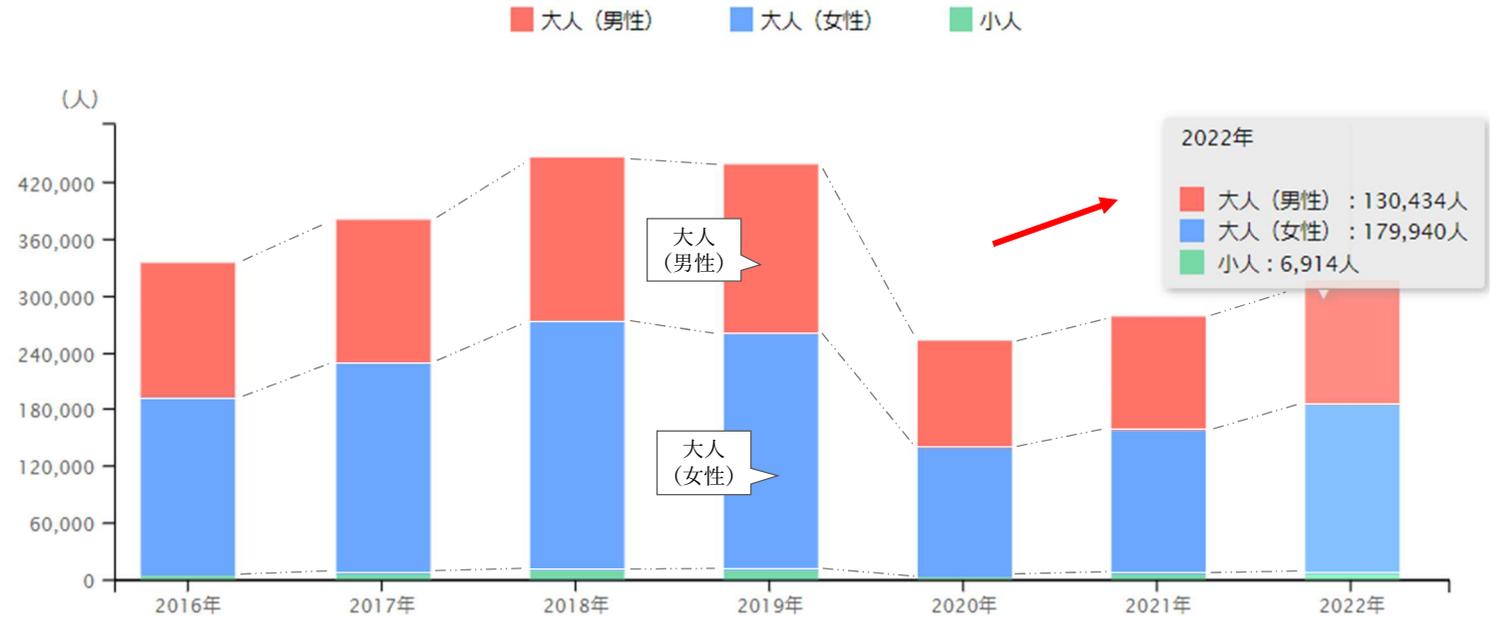
延べ宿泊者数（総数）の推移：性別

【目的】

地域への宿泊者の属性を性別の面から把握しよう。

【グラフから】

- ・2022年は2021年と比較して、延べ宿泊者数は「大人（男性）」は増加、「大人（女性）」は増加、「小人」は減少となっている。
- ・「大人（女性）」が半数以上を占める。



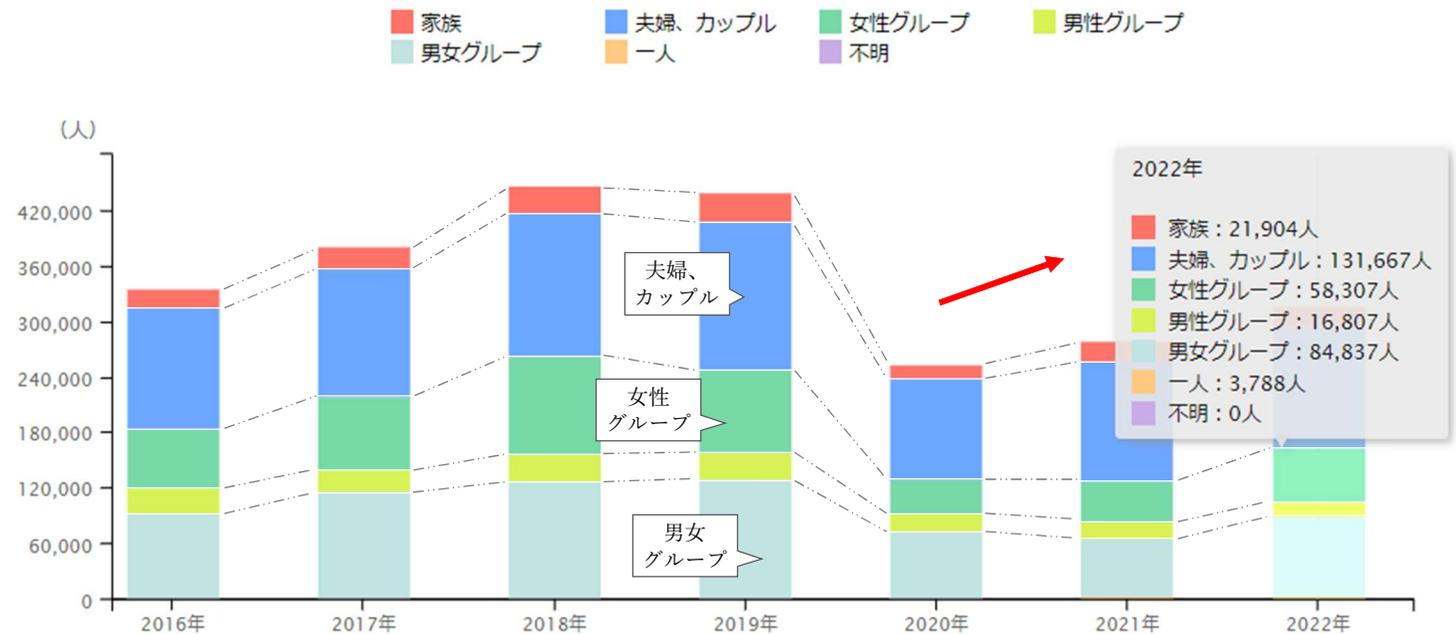
延べ宿泊者数（総数）の推移：参加形態別

【目的】

地域への宿泊者の属性を参加形態の面から把握しよう。

【グラフから】

- ・2022年は「夫婦、カップル」での宿泊が最も多く、次いで「男女グループ」となる。2021年と比較して増加している。
- ・「男性グループ」よりも「女性グループ」での宿泊が多い。



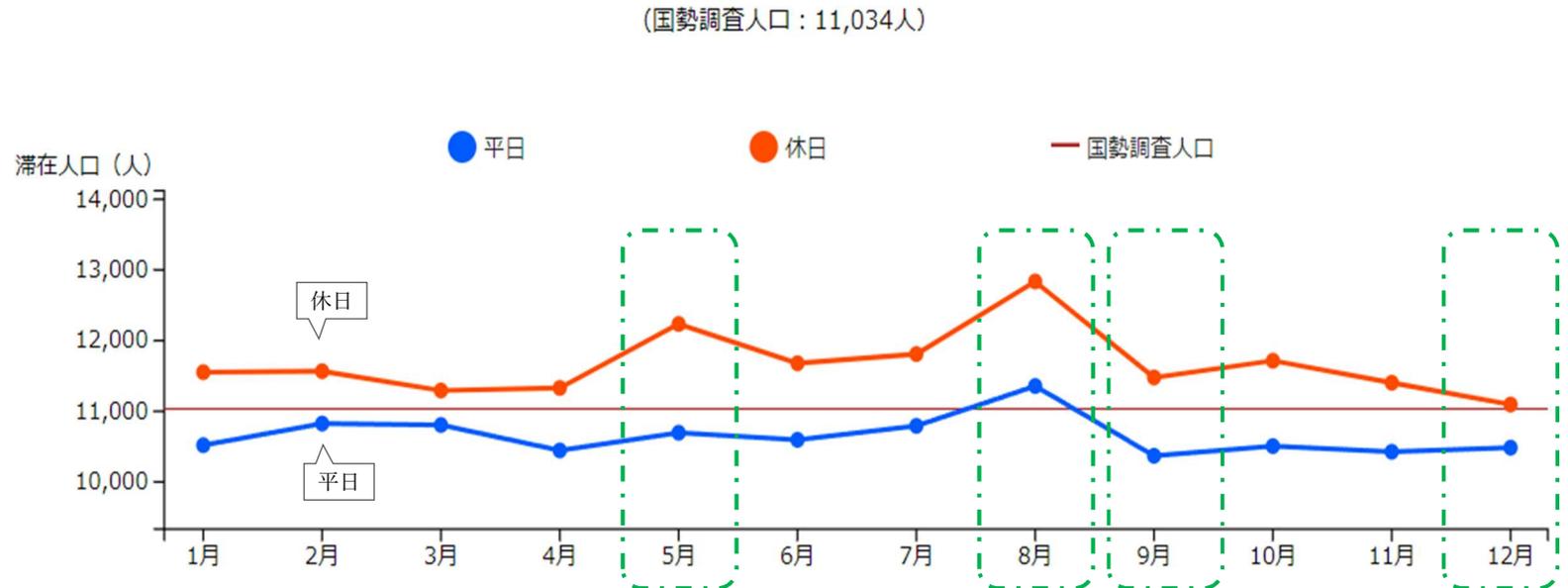
【目的】滞在者が増える時期と減る時期を確認し、滞在者の季節変動を把握しよう。

滞在人口の月別推移 総数（15歳以上80歳未満）

2022年 14時

【グラフから】

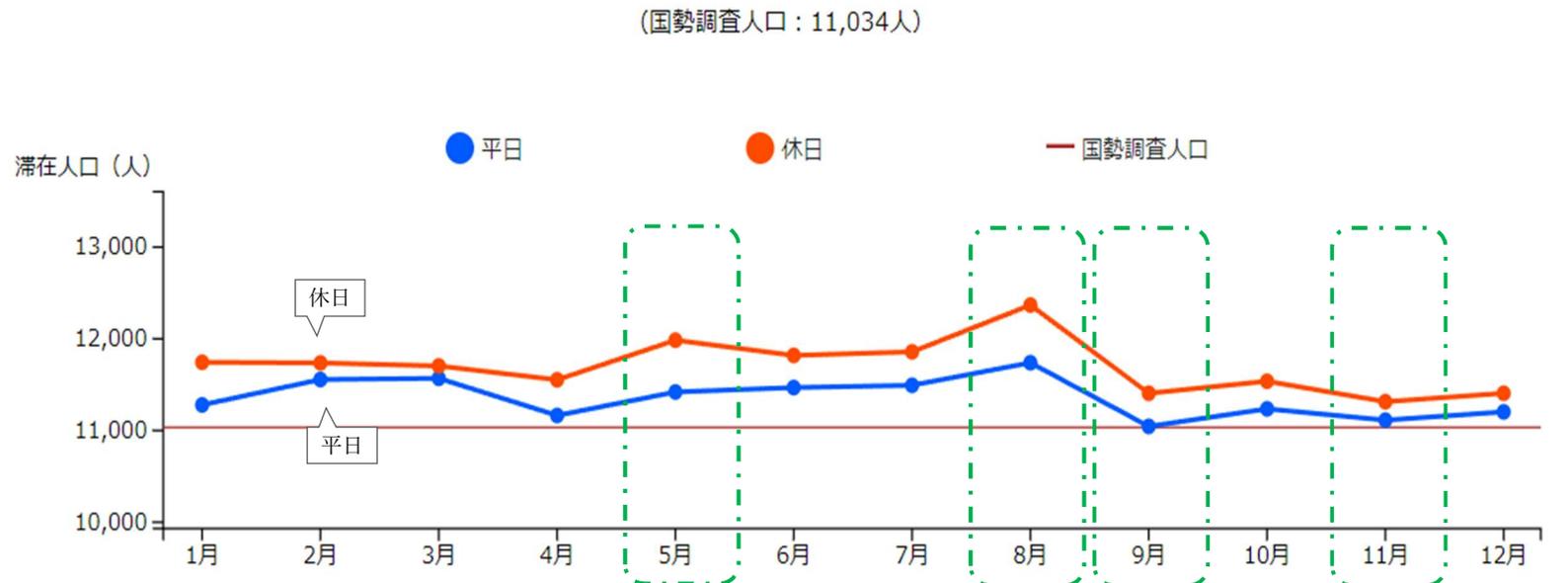
- ・休日の滞在人口は「8月」が最も多く、「12月」が最も少ない。
 - ・平日の滞在人口は「8月」が最も多く、「9月」が最も少ない。
- 平日は、市外に滞在する人口の方が、市内人口よりも多い。



2022年 20時

【グラフから】

- ・休日の滞在人口は「8月」が最も多く、「11月」が最も少ない。
- ・平日の滞在人口は「8月」が最も多く、「9月」が最も少ない。



【目的】 地域への宿泊者がどこから来るのか把握しよう。

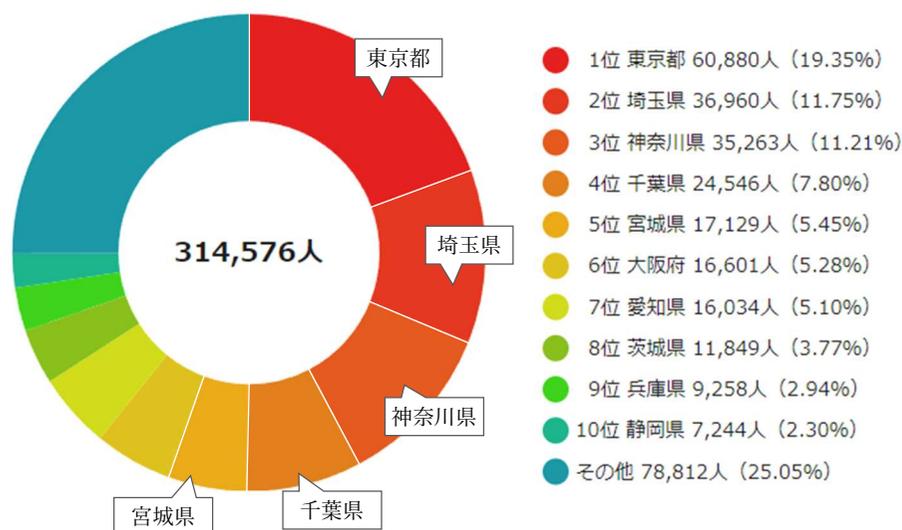
【グラフから】 ・2022年の居住都道府県別の延べ宿泊者数（自都道府県を除く）は「東京都」が最も多く、2021年と比較して増加している。

・関東圏からの宿泊者数が、約50%を占めている。

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合

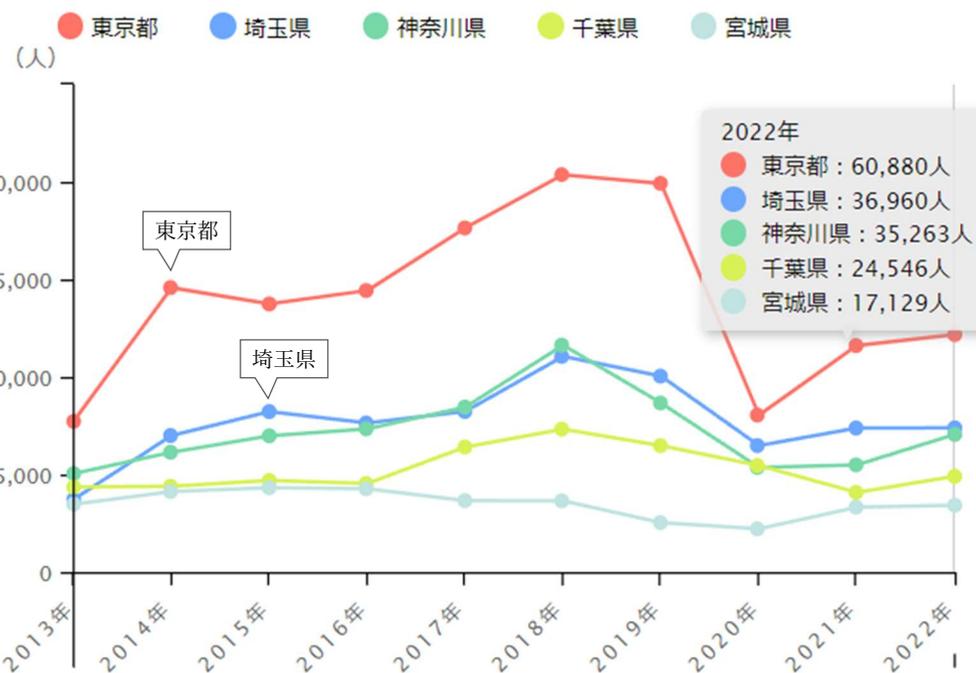
山形県尾花沢市

2022年



居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の推移

山形県尾花沢市



国・地域別訪問者数の推移

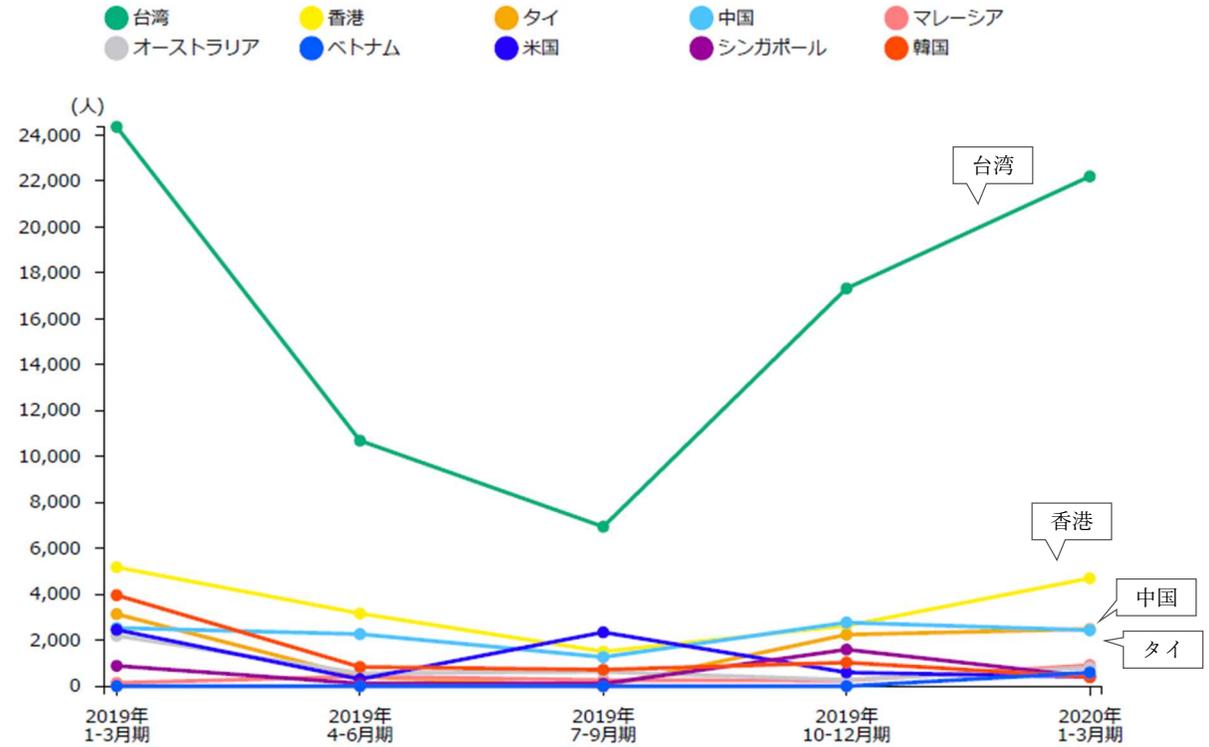
山形県 2019年、2020年

すべての目的

【目的】国籍別訪問者数を確認し、外国人訪問客の現状を把握しよう。

【グラフから】

- ・2020年に山形県を訪問した外国人の国籍で多かったのは、「台湾」、「香港」、「タイ」、「中国」。



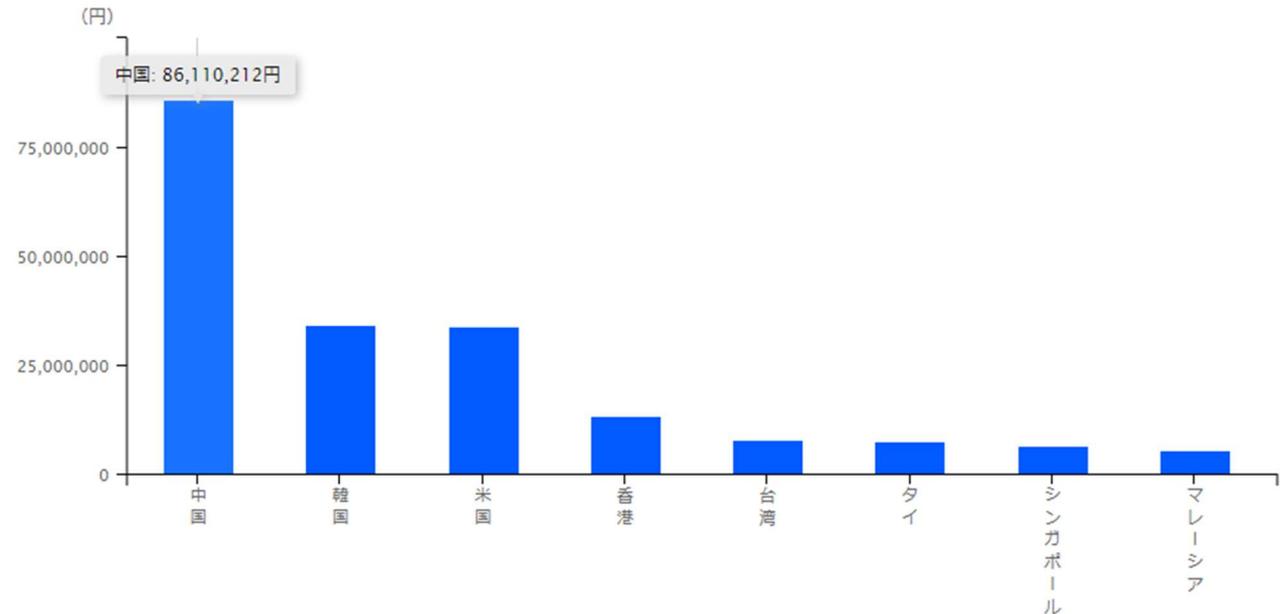
国籍別消費額

山形県 2021年 分類指定なし

【目的】国籍別訪問者数を確認し、外国人訪問客の現状を把握しよう。

【グラフから】

- ・2021年に山形県を訪問した外国人のうち消費額が多かったのは、「中国」、「韓国」、「米国」、「香港」。



【目的】 滞在が増える時期と減る時期を確認し、滞在者の季節変動を把握しよう。

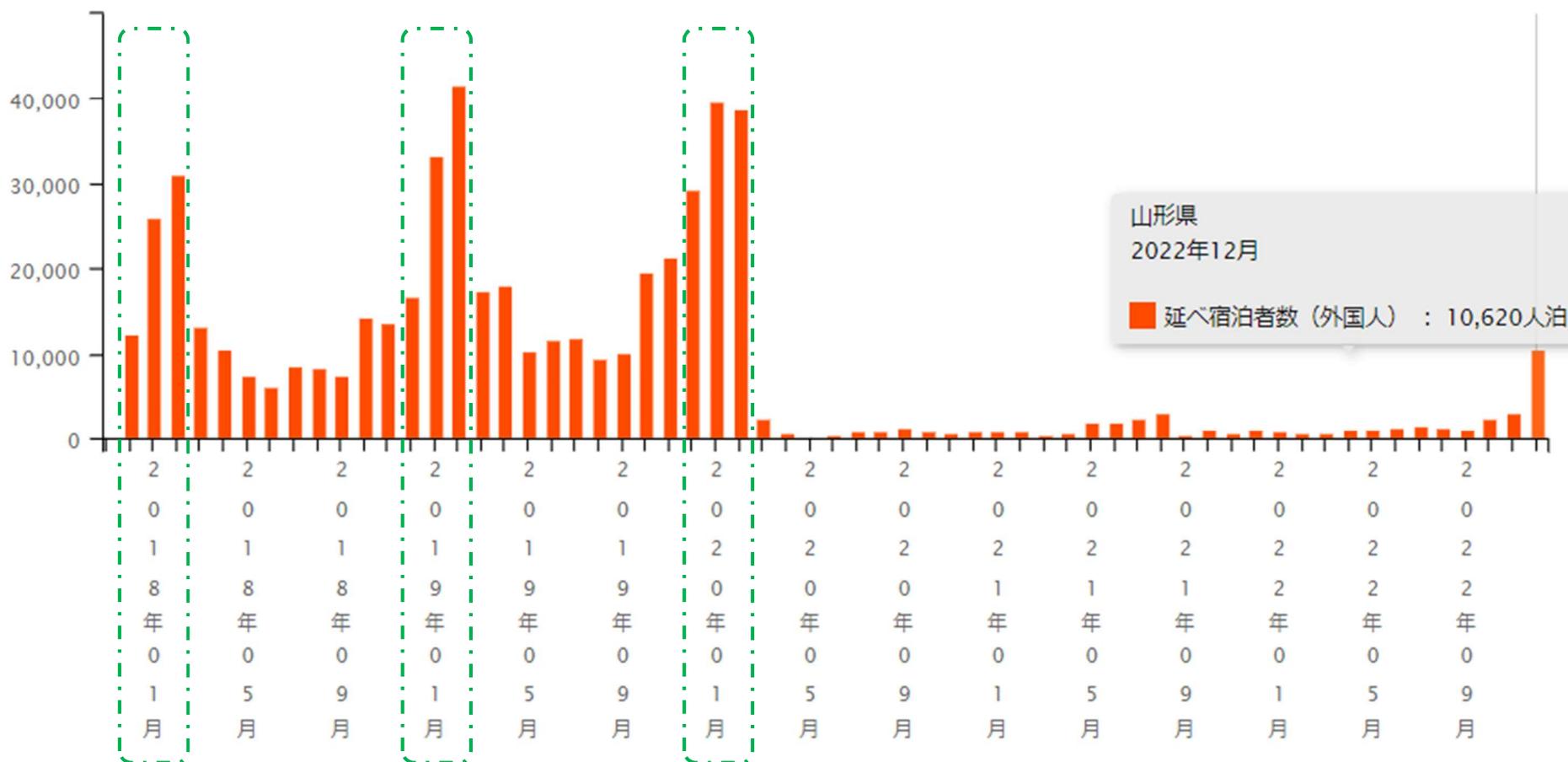
【グラフから】 ・延べ宿泊者数（外国人）は、複数年を比較して診ると1月～2月が多く、5月～9月が少ない。

延べ宿泊者数(外国人)の推移

山形県

■ 延べ宿泊者数（外国人）

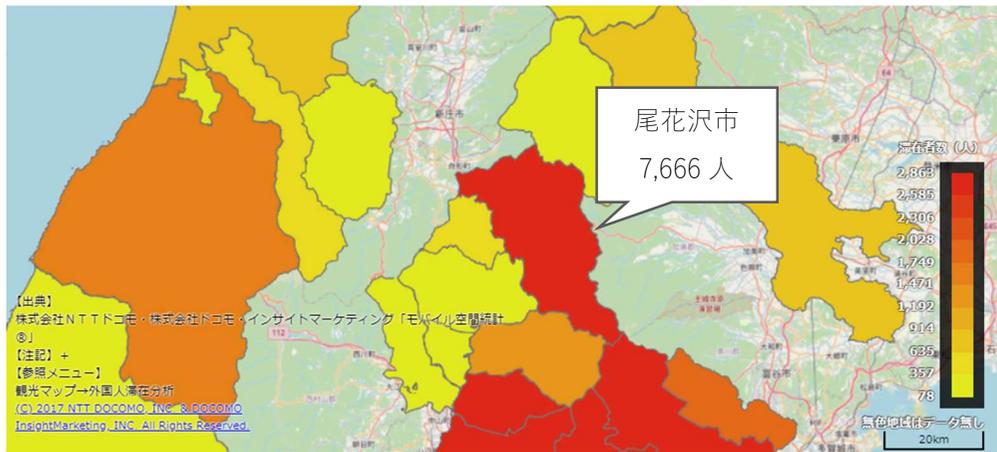
(人泊)



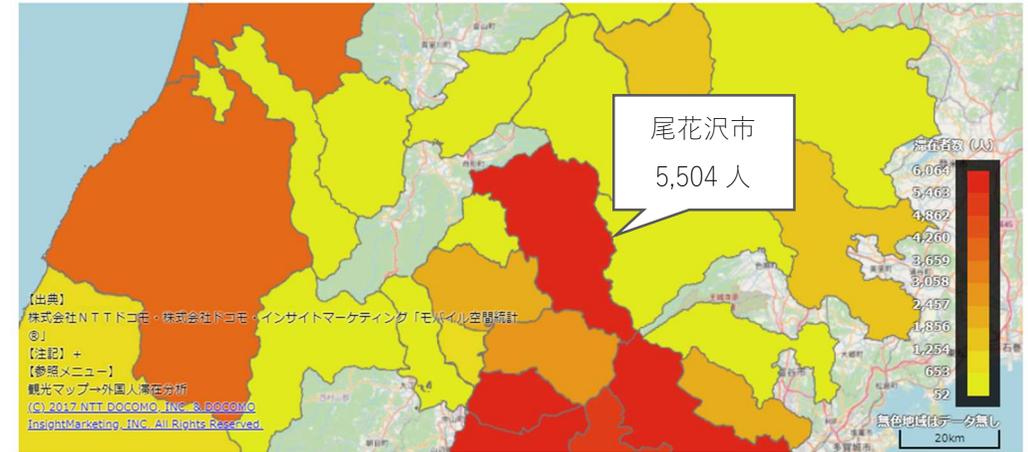
【目的】 昼夜間の外国人滞在人口を確認しよう。

【グラフから】 ・2023年1月、2023年4月の尾花沢市の外国人滞在人口データから、夜間より昼間が多く、外国人の宿泊客を取り込めていない可能性がある。

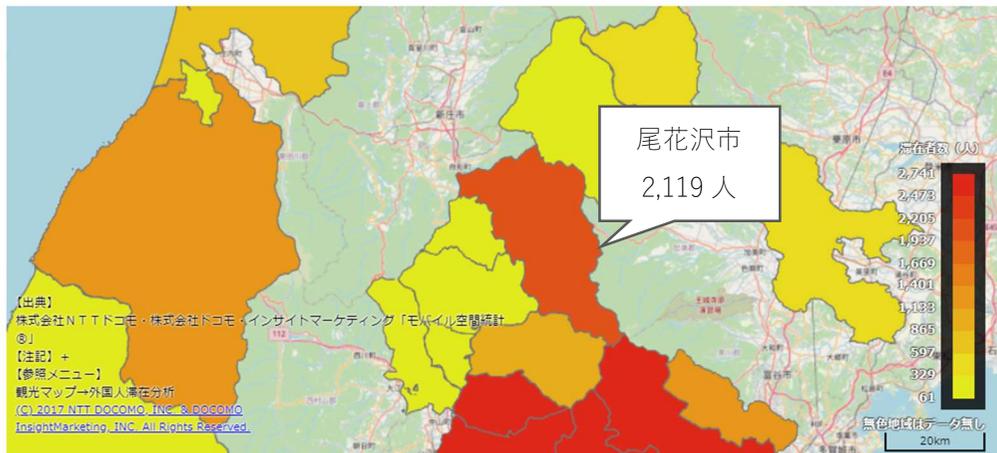
2023年1月 時間帯 昼間（10時～18時）



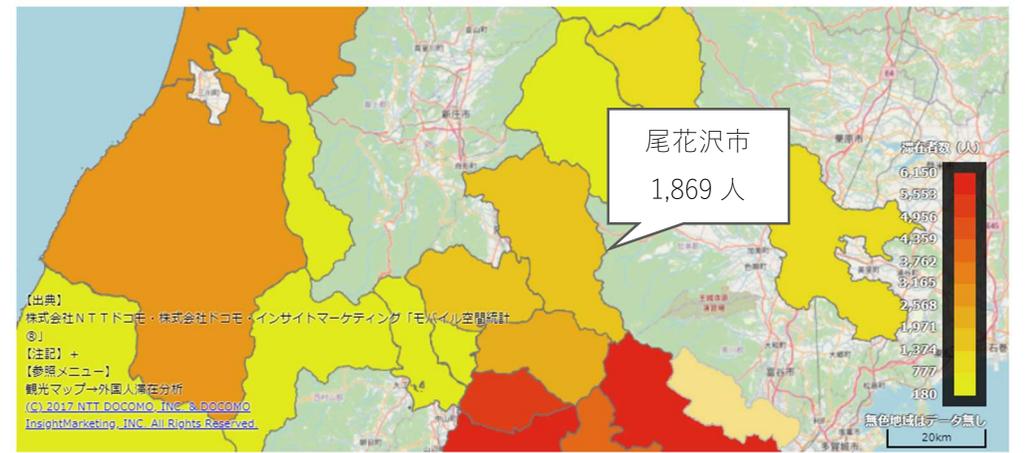
2023年4月 時間帯 昼間（10時～18時）



2023年1月 時間帯 夜間（2時～5時）



2023年4月 時間帯 夜間（2時～5時）



【目的】観光予測を確認しよう。 ※観光予報プラットフォームの推計値はこれまでの個人の宿泊実績、6カ月前の予約数を参考に記載されています。

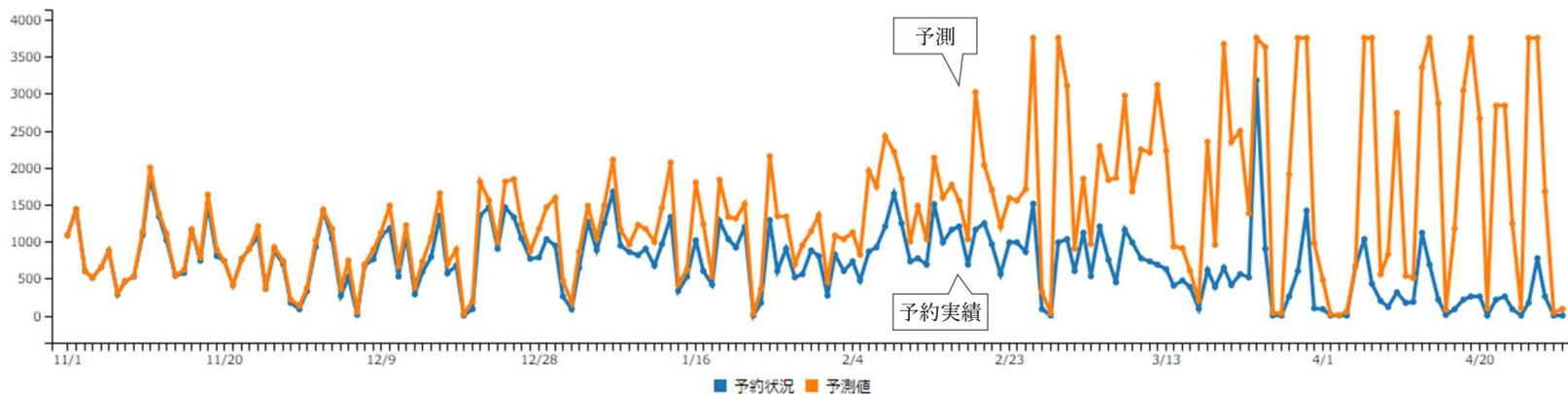
山形県尾花沢市 (出典：観光予報プラットフォーム)

		11月	12月	1月	2月	3月	4月
混雑予想							
増加率 (対前年比)	全体						
	海外からの増加率	上昇中	上昇中	上昇中			上昇中
	国内からの増加率				上昇中	上昇中	上昇中

かなり混雑
 混雑
 やや混雑
 やや空いている
 空いている
 上昇中
 前年並み
 下降中

宿泊者数の推移予測

グラフ
 宿泊者全体 (単位: 人) ▼
前年比
データを表示
季節・イベント

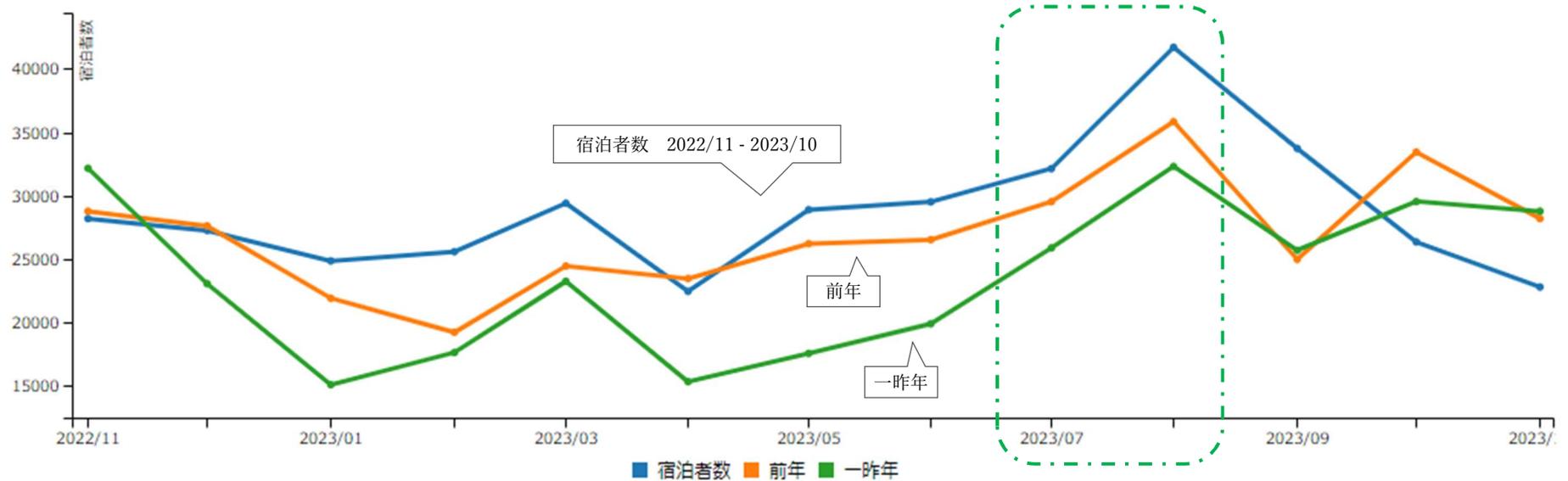


※宿泊者数の予測に必要なデータを十分に取得できなかった場合、「0」と表示されますのでご了承ください。

【目的】 宿泊実績を確認しよう。

- 【グラフから】
- ・国内の宿泊者数は、「8月」が多い。海外の宿泊者数は、「1月」、「2月」が多い。
 - ・一昨年や前年に比べて、宿泊者数は増加傾向にある。

山形県尾花沢市 宿泊者（国内のみ） 単位：人



山形県尾花沢市 宿泊者（海外のみ） 単位：人



【目的】 キャッシュレス決済の消費動向を確認しよう。

直近月のキャッシュレス消費動向（山形県、2023年9月）

居住都道府県別：日本人

順位	居住都道府県	シェア	利用単価
1位	東京都	23.7%	¥13,768
2位	神奈川県	12.7%	¥14,498
3位	宮城県	12.5%	¥12,487

[推移を見る](#)

性別：日本人

順位	居住都道府県	シェア	利用単価
1位	男性	76.2%	¥14,247
2位	女性	23.8%	¥13,529

[推移を見る](#)

業種別TOP3：日本人

順位	業種	シェア	利用単価
1位	ホテル・旅館（オンライン含む）	62.1%	¥23,283
2位	レンタカー・ガソリンスタンド	6.9%	¥10,107
3位	その他小売	5.1%	¥7,672

[推移を見る](#)

年代別：日本人

順位	性別	シェア	利用単価
1位	50代	25.5%	¥15,843
2位	60代	19.2%	¥18,531
3位	40代	18.4%	¥12,975

[推移を見る](#)

国籍別TOP3：訪日外国人

順位	国籍	シェア	利用単価
1位	台湾	22.1%	¥31,133
2位	アメリカ	21.5%	¥33,927
3位	香港	15.1%	¥40,543

[推移を見る](#)

業種別TOP3：訪日外国人

順位	業種	シェア	利用単価
1位	ホテル・旅館（オンライン含む）	67.8%	¥46,701
2位	飲食店・レストラン	7%	¥11,750
3位	貴金属・時計	4.9%	¥527,750

[推移を見る](#)

出典：三井住友カード株式会社